



とちょう保育園便り

2021年10月号

暑さも和らぎ、外でのびのびと体を動かす機会も増えてきました。

子どもたちは散歩に出掛けてはどんぐりを見つけたり、虫探しをしたりしながら心地よい秋の自然の中、季節の遊びを楽しんでいます。

朝晩と日中の気温差が激しい時期でもあります。一人ひとりの体調変化をしっかりと見ながらも、自然の恵みに触れ合う経験がたくさん出来るよう見守っていきたいと思います。

とちょう保育園

10月の予定

- 11日(月)～18日(月) ひよこ組個人面談・保育参観
- 19日(火)～11月1日(月) りす組個人面談・保育参観
- 12日(火) 身体測定
- 15日(金) 避難訓練
- 29日(金) 0歳児健診



アルファ米を食べてみよう!

災害時に備えて保育園には3日分の食料や水分、ミルクなどの備蓄があります。その中の一つにアルファ米(白米)があります。お湯で戻すと少しやわらかめのご飯になり、完了食のお子さんから食べられます。今月は8日と22日(金)の献立にアルファ米を使用してみんなで食べてみます。実際に使用する使い捨て容器も使ってみるので、どんな反応をするか…。一足先に職員で味見をしてみたところ、甘くてやわらかく美味しかったです。これならみんなも気に入ってくれるかしら。もしもに備えて、大事なことです。

とちょう保育園のお部屋から



保護者の方のお悩みナンバーワンは「野菜を食べてくれないこと」こんな声が多く聞かれます。「一口だけでも食べてほしい!」と思う気持ちよくわかります。ですが、嫌いなものを一口食べる事より、「食べる事って美味しい、嬉しい!大好きな時間」と思ってくれることが子どもたちにとって大切だと思います。ただし、苦手だからといって苦手な食べ物を子どもの目の前から無くすのではなく、食卓に並べて、大人がそばで美味しそうに食べている様子を見せることは大切。「〇〇食べたら元気もりもりになってきた!」なんて独り言を言ったりしながら。ある日突然興味を持って食べてくれることもあります。

そして、つつい Spoon などの食具の持ち方など何かを教えたくなくなってしまうかと思いますが、それも今の時期には最優先ではありません。何かをするとしたら、目の前で大人が食具を正しく持っている姿などを見せているうちに長い目で見て興味を持ったら自発的に習得していきます。

園医(小児科医)である法人の理事長も、「こうでなければいけないとは思わないこと。大人も自由に発想しながら色々試してみても良い。ただし大人は子どもの自由を侵してはいけない。」とよく言っています。悩んだら、発想をやわらかくして色々試していきたいですね。子どもたちには気持ちをたくさん受け止めてもらいながら自由に表現できる経験をたくさんしてもらいたいと思います。

10・11月は保育参観や個人面談があります。お子さんの園での様子やご家庭での姿をお話しができたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



おねがい

保育園の目の前の都民広場は滑りやすくなっているため、自転車で送迎される場合は怪我につながらないように、大人の方は必ず自転車から降りて押しいただきますよう、お願いいたします。

※ 東京都から走行禁止が出ています ※

